

とうにうん

NO. 75 号 2020年 6月 27日
J R 東海 労 東二運分会
責任者 齊 藤 厚 志
編 集 教 宣 部

政府、東京都のコロナに対する現在の姿勢は危険である！

宣言解除、東京アラート解除後感染者が毎日拡大している！

宣言解除、東京アラート解除の基準、解除前の自粛はなんであったのか？

JR 東海独自のコロナ対策が必要ではないか！

社員と家族を守る！その事が大動脈の安全安定輸送を守る！

新幹線の運行を戻すためのコロナ対策はあるのか？

現在は、歓楽街や県をまたぐ移動が自由になったが、それに伴い毎日感染者が増加している。このままでは、オーバーシュートになり、コロナ発生当時よりも感染者が拡大してしまう。

政府、東京都を信じて任していたら、経済危機を回復する以前に、医療崩壊と自分や家族の命を守る事が非常に難しくなる状況に追い込まれてしまう。

新幹線もこれから夏休みや海外からの旅行者等により、多くのお客様が利用する事になる。新幹線の運行も感染前に戻るとなると、乗務員は通勤、職場、新幹線車内等が大変な蜜になる。新型コロナウイルスの危険な状況は、コロナウイルスが発生した頃と何も現状は変わっていない。

社員、乗務員と家族を守るためにも、政府等の対策を信じて待っていても、対策、対応など遅く、JR 東海は独自にコロナ対策と社員とその家族を守る事である。その事によって、新幹線の運行を戻す、東京～新大阪間の大動脈の安定安全輸送の確保のためにも新たな対策を独自に考える必要がある。

宣言解除、自由に移動する事が出来るからと言って、新幹線の運行状態を戻していいのだろうか、そこに何かコロナ対策があって戻すのだろうか？

今後もコロナと闘いながらの生活、業務をこなす状況になって行くと思われるが、通勤時、職場、新幹線車内の密状況を今後どう対策して行くのか？今以上の第2、第3段階の対策が必要ではないのか。

コロナ対策として経済的にもリニア建設は中止すべきである！

経済的問題、リニア建設費用やその後の負債の問題などを考えると、収益を上げる必要や公共交通機関の役割があるが、コロナ対策として、経済的負債をなくす為にもリニア建設は中止すべきである。

新幹線の運行を戻すと感染リスクが増大する。感染後のシミュレーションや感染者の対応、補償などの準備の整備が必要である。

会社は、社員と家族を守る責任がある！